

12月は 地球温暖化 防止月間です。

平成9年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)を契機として、環境省では12月を「地球温暖化防止月間」としています。

この間、行政や事業者、各種団体において様々な取り組みが行われます。皆様の生活におきましても、どのような行動が地球温暖化防止につながるのかについて考えてみましょう。



WARM BIZ ~1人ひとりが、やさしい冬をつくります~

チャレンジ25キャンペーン(環境省)では、2005年度から冬の地球温暖化対策の一つとして、暖房時の室温20℃設定で心地良く過ごすことのできるライフスタイル「WARM BIZ」(ウォームビズ)を推進しています。

今年度も11月1日から3月31日までをウォームビズ期間とし、東日本大震災を受けた節電の必要性はもちろんのことですが、エネルギー全般の使い方を見直し、各主体が低炭素社会の構築に向けたビジネススタイル・ライフスタイルに変革することを目指し、オフィスや家庭で出来る「WARM BIZ」の普及啓発を行います。

詳しい内容は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.challenge25.go.jp/practice/warmbiz/warmbiz2011/index.html>

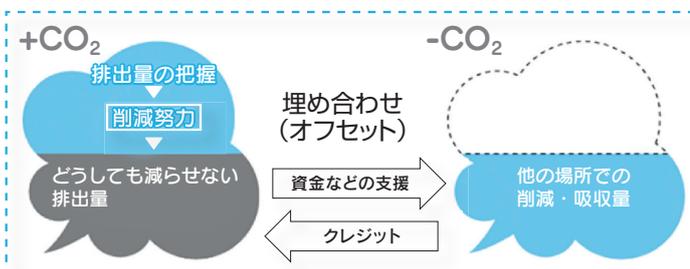
※このページに記載されているポスターやロゴマークなどの啓発ツールは、ホームページから「WARM BIZ賛同団体」へご登録いただくことにより、ご利用いただけます。



中部カーボン・オフセット推進ネットワークのご案内

21世紀の企業にとっての重要課題の一つは、温室効果ガスの排出削減とエネルギーコスト削減への対応です。これ以上の温暖化・気候変動が人類社会全体へのリスクである以上対応は不可避です。温室効果ガスの排出削減はすなわちエネルギーコストの削減であり、生産コストの削減にもなります。

カーボン・オフセットとは、このような温室効果ガス排出とエネルギーコストの削減に加えて商品やサービス、企業活動そのものに確実な環境価値を付加する公的な仕組みです。カーボン・オフセットに用いられるJ-VETクレジットとは森林保全活動などを中心とする温室効果ガスの排出削減・吸収活動から生み出されるものであり、環境教育の場の提供、多様な動植物の住みかの創出、再生可能エネルギー設備の増加といったさまざまな付加価値を地域にもたらすもので、中部(愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井、長野)管内でもこのクレジットを創出する多くのプロジェクトが進んでいます。



中部カーボン・推進ネットワークは、地域社会の低炭素化を促進し、このカーボン・オフセットの仕組みを、地域の皆様により分かりやすく理解していただくことを目的として、中部地区で初めて環境省委託事業として設立されました。

カーボン・オフセットについて知見を深めたい地域の民間企業・自治体等の皆様が緩やかなネットワークを形成し、サービスとして①HPやメルマガでの最新情報の提供、②さまざまな研修機会の提供、③ヘルプデスク機能の提供を行い、カーボン・オフセットの取組みをスムーズに展開していきたいと考えています。是非、中部カーボン・オフセット推進ネットワークにご参加ください。

事務局：特定非営利活動法人ボランタリーネイバース
株式会社ウエストボックス
協力：環境省中部地方環境事務所
環境省中部環境パートナーシップオフィス

(EPO中部)

詳しくは、<http://c-conet.org/index.html>